

市民フォト PHOTO

NO.63

鹿児島

特集

スケッチ!
かごしまの朝

平成8年(1996年)1月1日発行
鹿児島市広報課



CONTENTS

市民フォト鹿児島 No.63

わがまち上空散歩.....	2
【特集】スケッチ！かごしまの朝.....	3
クローズアップ●角田寿喜さん.....	12
学校探訪●紫原小学校.....	14
技の世界●長谷川久志さん.....	16
ハロー鹿児島●ALT(外国語指導助手)の皆さん	18
シティーアングル●並び.....	19
わたしの好きな場所●小笠原克美さん.....	20
ふるさとの歴史探訪●中山町辺田.....	22
よかタイム●百枝盛男さん.....	24
かごしまの自然●城山にて.....	25
市民ギャラリー●東桜島公民館.....	26
市政この一年.....	28
集えば楽し●東谷山レディース.....	30
市立美術館●ドライフラワー.....	31

●表紙写真説明

新たな年の幕開け。すがすがしい
気分で初もうで…。新春の澄んだ空
気がとても気持ちいい。

風に乗って子どもたちにぎやか
な声が流れてくる。

色鮮やかな獅子舞が正月を彩る。
モデルはミス鹿児島の小牧真紀子
さんと城南保育園の子どもたち。

犬迫町の上空から



写真手前に造成された区画
が見える。ここが「鹿児島市
都市農業センター（仮称）」の
建設地である。総面積は約三
十ヘクタール。農業研修ゾー
ン、市民農園ゾーン、ふれあ
いゾーンの三つのゾーンが設
けられる。

昨年十一月十一日に本館な
どの起工式があり、平成八年
度の完成を目指して、現在、
急ピッチで建設が進んでいる。

そのセンター建設地の奥、
写真中央のやや上には緑色の
屋根が鮮やかな「かごしま健
康の森公園」、さらにその奥に
は、花野団地、伊敷団地、千
年団地の家並みが見える。

写真上部では、左から右に
甲突川が流れ、また、伊敷団
地の奥には九州縦貫自動車道
が見える。

緑豊かな山々の間を縫うよ
うに、刈り入れの終わった田
んぼが広がっている。



スケッチ

かづしまの

朝

静寂の夜、街の灯が目に映ります。

空には、冬を代表する星々が輝き、
ガラスのように張り詰めた空気が、それらの光を揺らめかせて
やがて、街の灯がひとつ、またひとつ消え、
さつきまで頭上で輝いていた星が西の空に
東の空が茜色に染まり始めました。
さあ、朝の訪れます。

あなたは、今日、

どんな朝をお迎えですか。



野鳥のさえずり



ジョウビタキ = 桜ヶ丘にて =



ルリビタキ = 慈眼寺にて =



ツグミ = 吉野にて =



アオジ = 寺山にて =

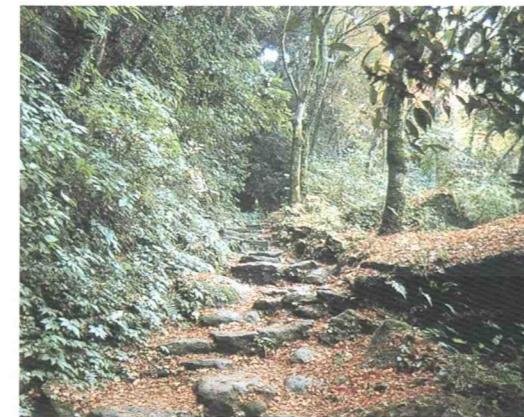


ミヤマホオジロ = 伊作峠にて =

慈眼寺の朝



朝の水浴び

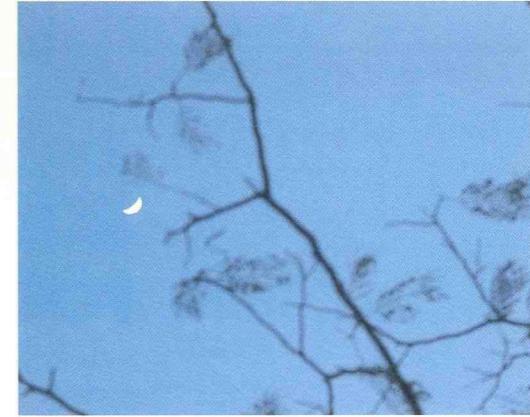


遊歩道の朝

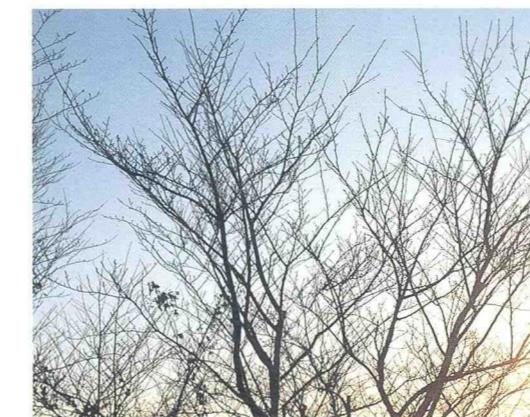
三重岳の朝



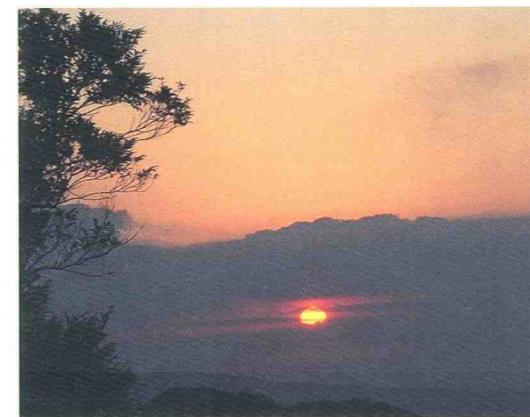
朝もやに包まれて



明け方の月



光が木々をやさしく包む



日の出

朝の訪れ…

冬の冷たい空気を
太陽の光が、通り抜けてきます。
まぶしい朝の光に誘われるよう、
小鳥たちも木の枝で深呼吸……
すがすがしい朝の到来です。

永田川の朝



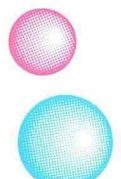
朝焼けが水面に映る



水辺で憩う



入 イッヂ





出港間近 =垂水フェリー=



夜明け間近の出港 =桜島フェリー=



フェリーからの夜明け風景 =垂水フェリー=



人の移動が始まる =桜島フェリー=

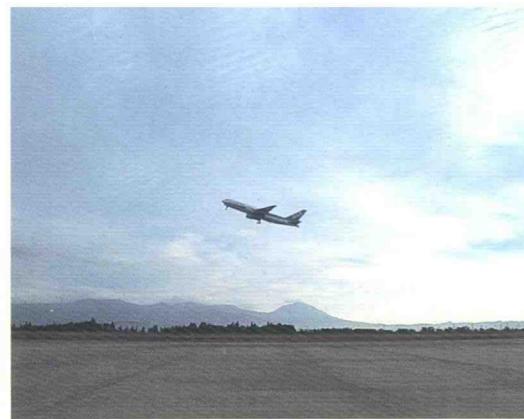
フェリーの朝



コックピットの点検風景



飛行機の点検が始まる



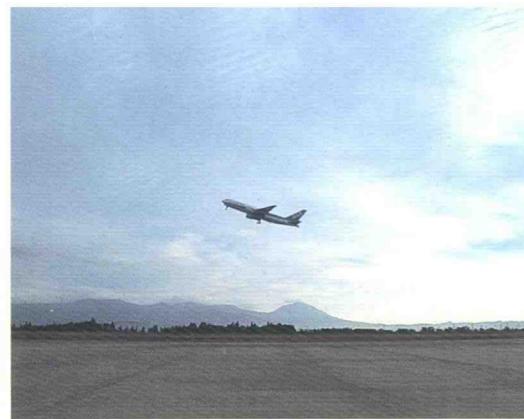
朝の空へ



コックピットの点検風景



飛行機の点検が始まる



朝の空へ



西鹿児島駅発 =一番列車=



朝の足音

朝、人が動きだし、街が息づき始める。

一日の始まり。始発が走りはじめる……

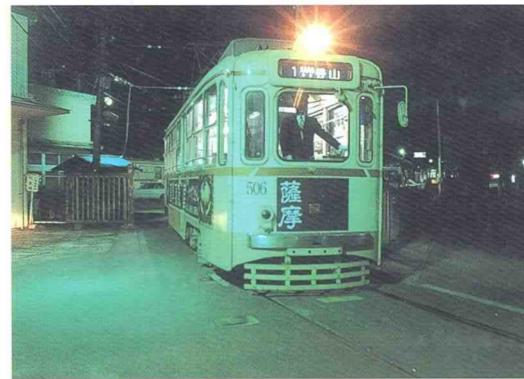


6時5分 始発電車（鹿児島駅前電停）

始発模様



6時5分 始発電車（谷山電停）



5時45分 始発電車が交通局を出る

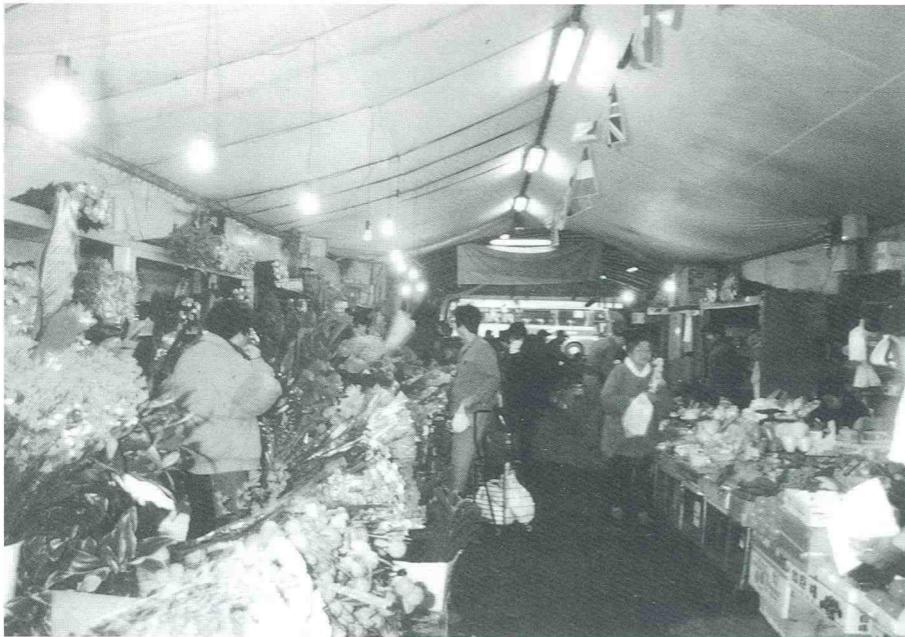


6時5分 始発電車（谷山電停）

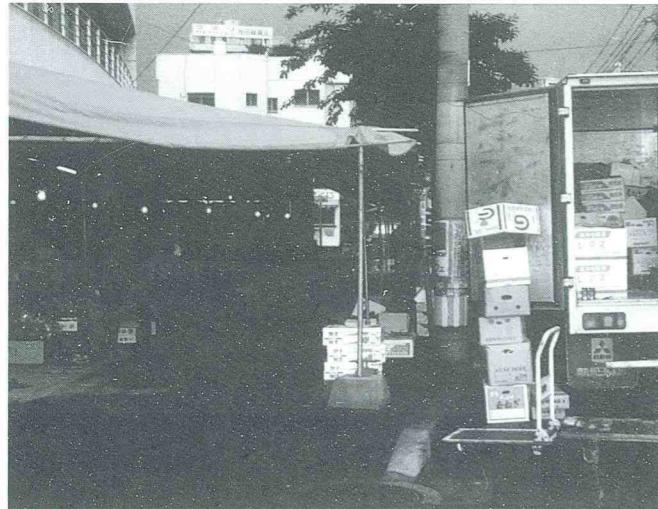
入ヶッチ

かごしまの朝

朝市



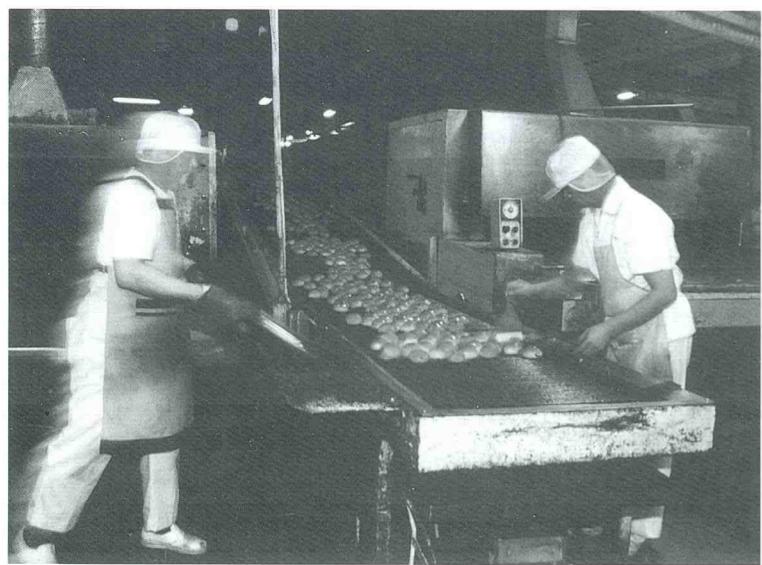
鹿児島の風物詩 =西駅前の朝市=



朝を届けます
滑川市場の朝



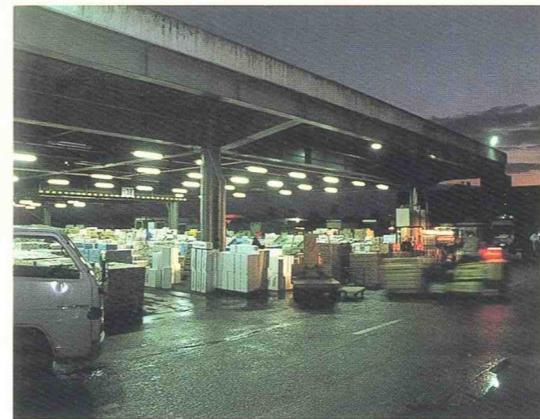
豆腐のできあがり



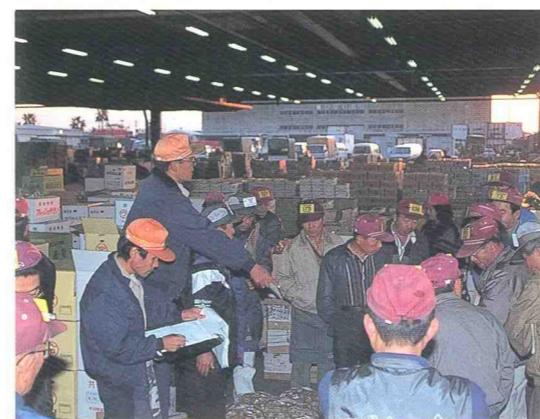
パンの焼き上がり



新聞配達の準備



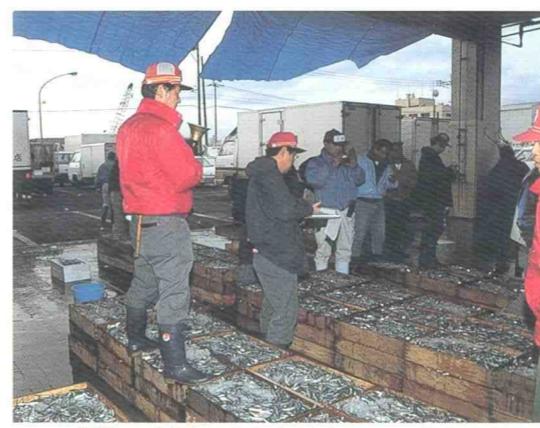
夜明け前から市場は大いそがし =青果市場=



朝日のなか、せりが始まる =青果市場=



船からの水揚げ =魚類市場=



振鈴の合図でせりが始まる =魚類市場=



毎月1日・18日に市が開かれます
=梅ヶ瀬観音の市=

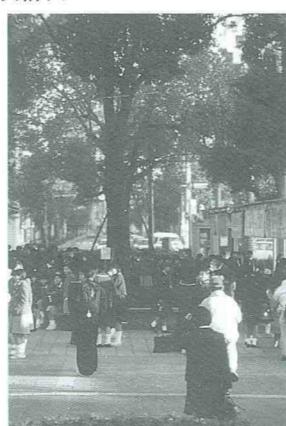


鹿児島の風物詩 =西駅前の朝市=

朝の活気…



通勤・通学風景



街が動きだす

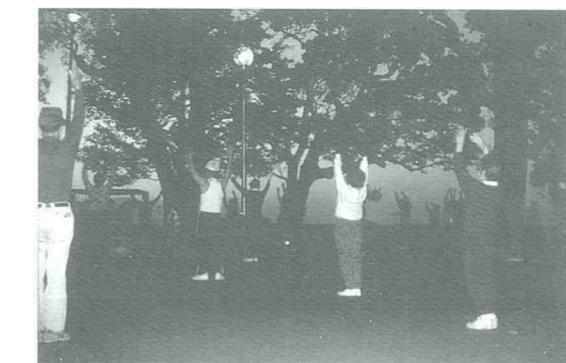
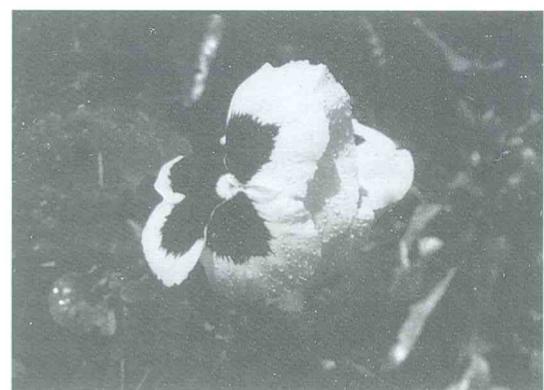
● 今日も一日、がんばりましょう……



朝の空気を 吸い込んで

日曜日の朝、
健康の森公園へやって来ました。
朝もやのなか、楽しげな親子連れが横を通り過ぎます。
「朝の空気って、気持ちいいね……」。
子どもの笑顔が輝いています。

かごしま健康の森公園の朝



城山展望台の朝

鹿児島大学理学部附属
南西島弧地震火山観測所長

かくたとしき
角田寿喜さん

1940年10月、北海道生まれ

北海道大学大学院理学研究科地球物理学専攻

1968年鹿児島大学理学部の講師として来鹿。

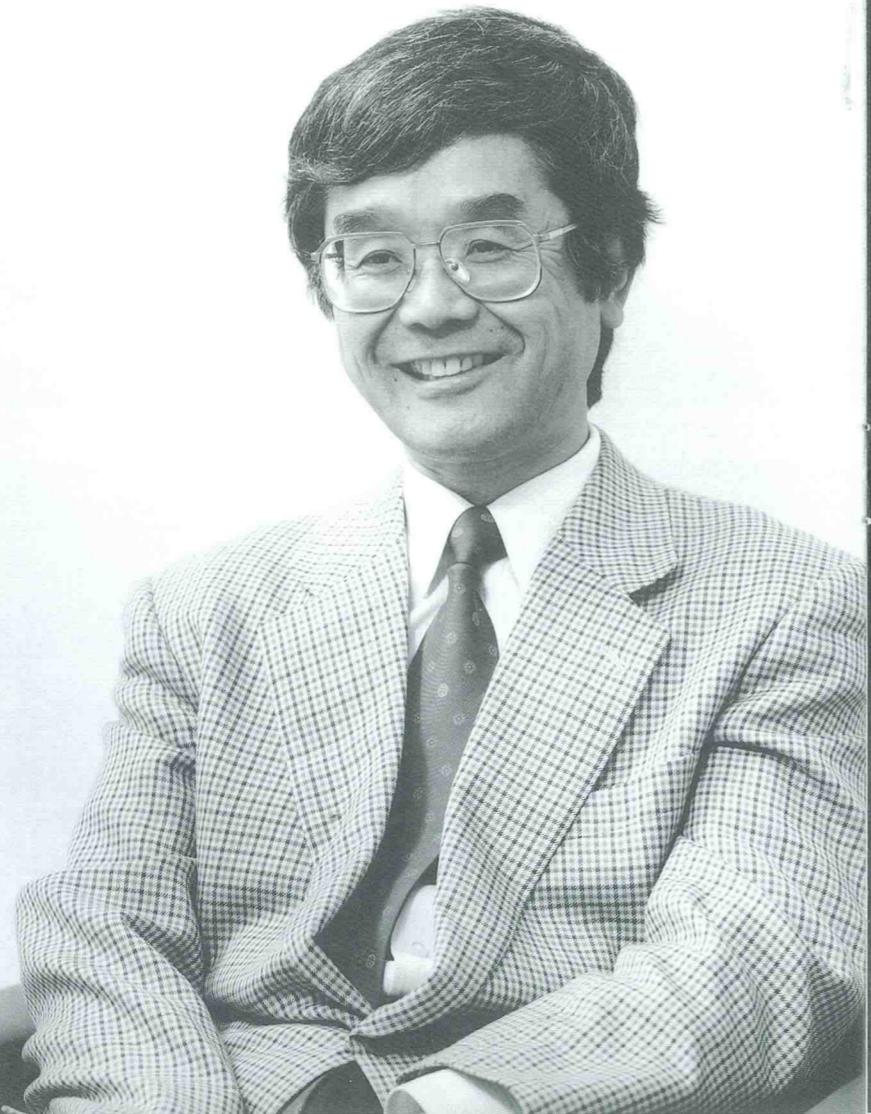
1989年4月、鹿児島大学理学部教授となり、

1991年4月、鹿児島大学理学部附属南西島弧

地震火山観測所長に就任。

CLOSE UP

クローズアップ



小学生のときに体験した大地震は、
一人の少年の人生を決めた。

地震や火山噴火予知を研究する理学博士となり、
今も地震発生の謎を追っている。

去年十月十八日、喜界島の地面が
激しく揺れた。震度は五。奄美近海
沖地震だ。北海道・奥尻、阪神淡路
大震災など、大災害が続いていただ
けに、奄美群島に緊張が走った。し
かし、「犠牲者もなく、思ったほど
の被害が出なくて、本当によかった」
翌日、現地入りした角田さんは、胸
をなでおろしたという。

北海道出身の角田さんは、大学で
地震火山学を学び、昭和四十三年鹿
児島大学理学部講師として赴任。平
成三年から「南西島弧地震火山観測
所長」に就任している。

「地震を専門に勉強してきた私に
とって、世界でも有数の活火山『桜
島』のある鹿児島に赴任できたのは
幸運でした。赴任した年、鹿児島市
でも有感となる地震が桜島に頻発し
たのを、今でもよく覚えています。
有感地震が頻発するということは、
桜島が危険な状態にあるということ
ですから、もしやと思って」。結局、
地震は収まり大事には至らなかつた

方からみて、今後、終息の方向へ向
かうでしょう」そう角田さんは予想
した。喜界島は、地震発生から一カ
月ほどして落ち着きを取り戻した。

「地震予知なんて、先を読むこと
は難しいし、本当は言いたくないん
だよ」。専門家の見解は、あくまで
もこうなることが予想されるとい
うことで、絶対ではない——。角田さ
んは念を押す。

最後に地震に強い街づくりとは?
の問いに、「いつ起ころか分からな
い地震に対して、私たちは街ぐるみ
で防災体制を整えることが理想で
す。例えば、造成団地の場合、地盤
の弱い盛り土部分では、地震の際、
家が倒れやすい。一般の人が知り得
にくい地盤関係の情報を、行政が住
民に与えていくことが急務ですね」
力をこめて角田さんはそう答えた。

(文/KTS鹿児島テレビ放送
崎山 雄二記者)



が、赴任早々、桜島に歓迎されたと
角田さんは当時を振り返った。

角田さんが最初に地震に興味を持
ったのは、小学生のころ。昭和二
十七年の十勝沖地震を体験したこと
が大きい。「小学校五年生のときで
したよ。授業中にグラツときて、み
んな慌ててグラウンドへ避難しまし
た。家に帰ったら壁にひびが入って
いて……。そのとき漠然とですが地球
の内部構造に興味がわいてきました
ね」。十勝の震度五の地震は、角田
少年の心をも大きく揺さぶったよう
だ。

地震発生後、この地震がいつまで
続くのか、あるいは被害のできるよう
のパターンに当てはめることによつ
て予想する。喜界島では初日と同等
クラスの激しい揺れが翌日にも発生
し、最も先の読みにくいパターンと
なりかけた。加えて、喜界島には計
測器が少ない。「地震の回数の減り

学校探訪

みんなの周りは
あたたかい空氣でいっぱい

輝かしい未来を
目指して

六年 浜田 優子

清家 由美

「昼休み、ペランダに出ると桜島の美しい風景と校庭で元気よく遊ぶみんなの姿が見える。」

そんな私たちの学校、紫原小学校は今年で創立三十一年をむかえる歴史と伝統のある学校です。

三十周年を記念して、一昨年、立派な校訓碑が建てられました。その校訓「自分から進んでがんばる」「他を思いやる」「最後までがんばる」という三つの事を目標にして、いろんなことに取り組んでいます。そのいくつかを紹介します。

まずは奉仕活動です。二年前から青少年赤十字に加盟して募金活動を行ったり、社会参加活動として地域のごみ拾いや愛校作業を行ったりしています。そのためか、地域の人との交流も盛んです。

昨年から始まつた「吹奏楽部」

特に、高齢者の方々とは手紙を書いたり（四年生）、七夕の時にいっしょにかざりを作ったり（五年生）、戦争の頃の話を聞いたり（六年生）して、とても仲よくなりました。これからも交流を深めていきたいと思います。

昨年から始まつた「吹奏楽部」

して「ジャズバンド」も紫原小学校

の特色になろうとしています。

私のクラスでも何人か入つていて、毎日のように昼休みや放課後に一生懸命がんばっています。演奏会前などは、夜遅くまで練習しているそうです。

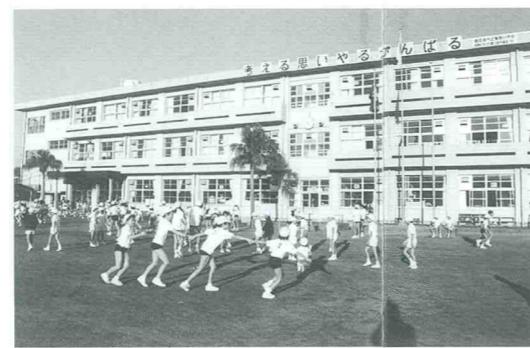
仲良し音楽や入学式・卒業式では、今までとちがつて生の演奏でみんなが気持ちよく歌っています。

夏のマーチングフェスティバルでは、迫力のあるすばらしい演奏をしていました。行事のたびに盛り上げてもらいたいと思っています。

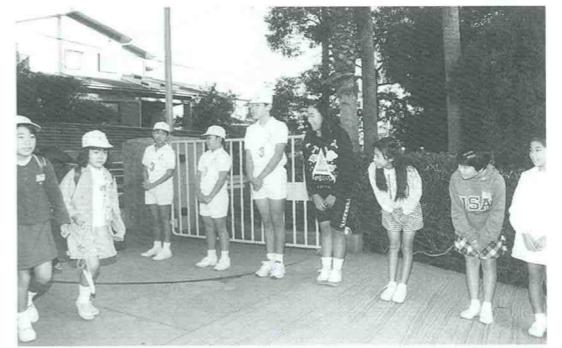
これからも先輩方が筑いてきた伝統を受け継いで、紫原小学校がさらにすばらしい学校になるように、輝かしい未来を目指して、みんなで協力し合い、がんばっていきたいです。



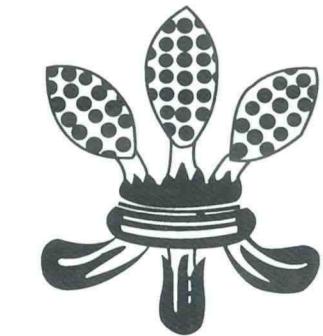
朝の仲良し音楽。一年生もいっぱい歌覚えたよ。



「考える思いやるがんばる」元気ッ子 のまなびや

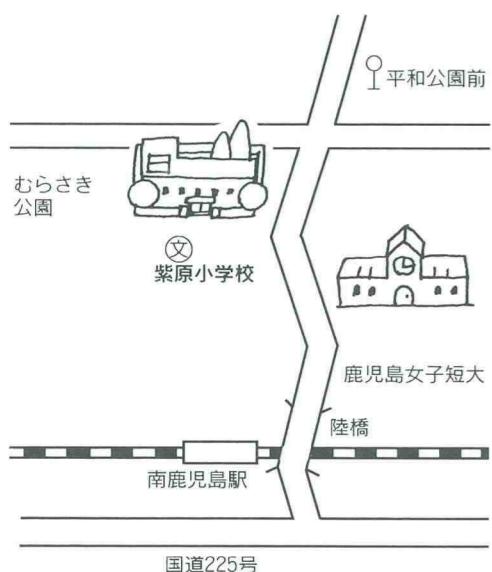


寒さに負けず元気に朝のあいさつ



紫原小学校

- 創立：昭和40年
- 児童数：908人
(平成7年12月1日現在)



学習発表会での吹奏楽部。体育館がアリーナに変身。

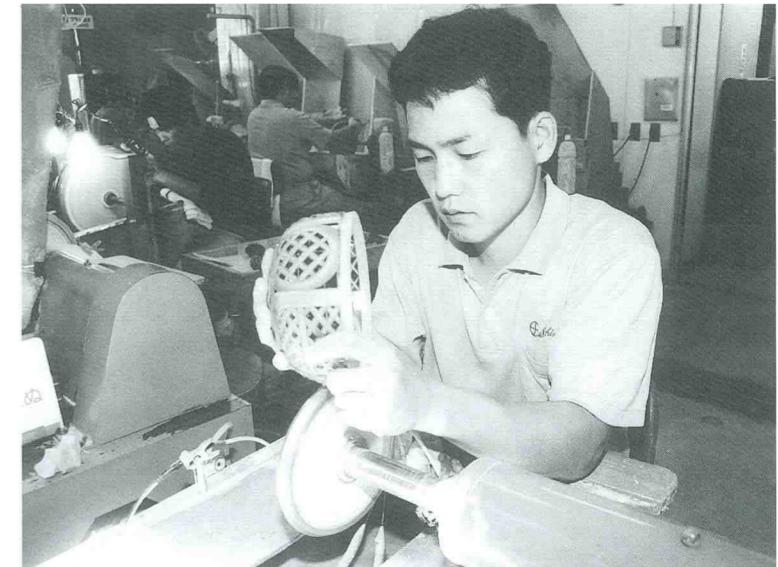


高齢者の方々との交流。ふれあいがあたたかい心を育む。

好きで飛び込んだガラス工芸の道。
何回接してもあきることがない。
復元から創造へ――
自分だけの薩摩切子に生命を吹き込んで。

進展する情報化社会。仕事も
ショッピングも自宅で光ファイ
バーを用いて済ませる時代がそ
こまで来ているという。

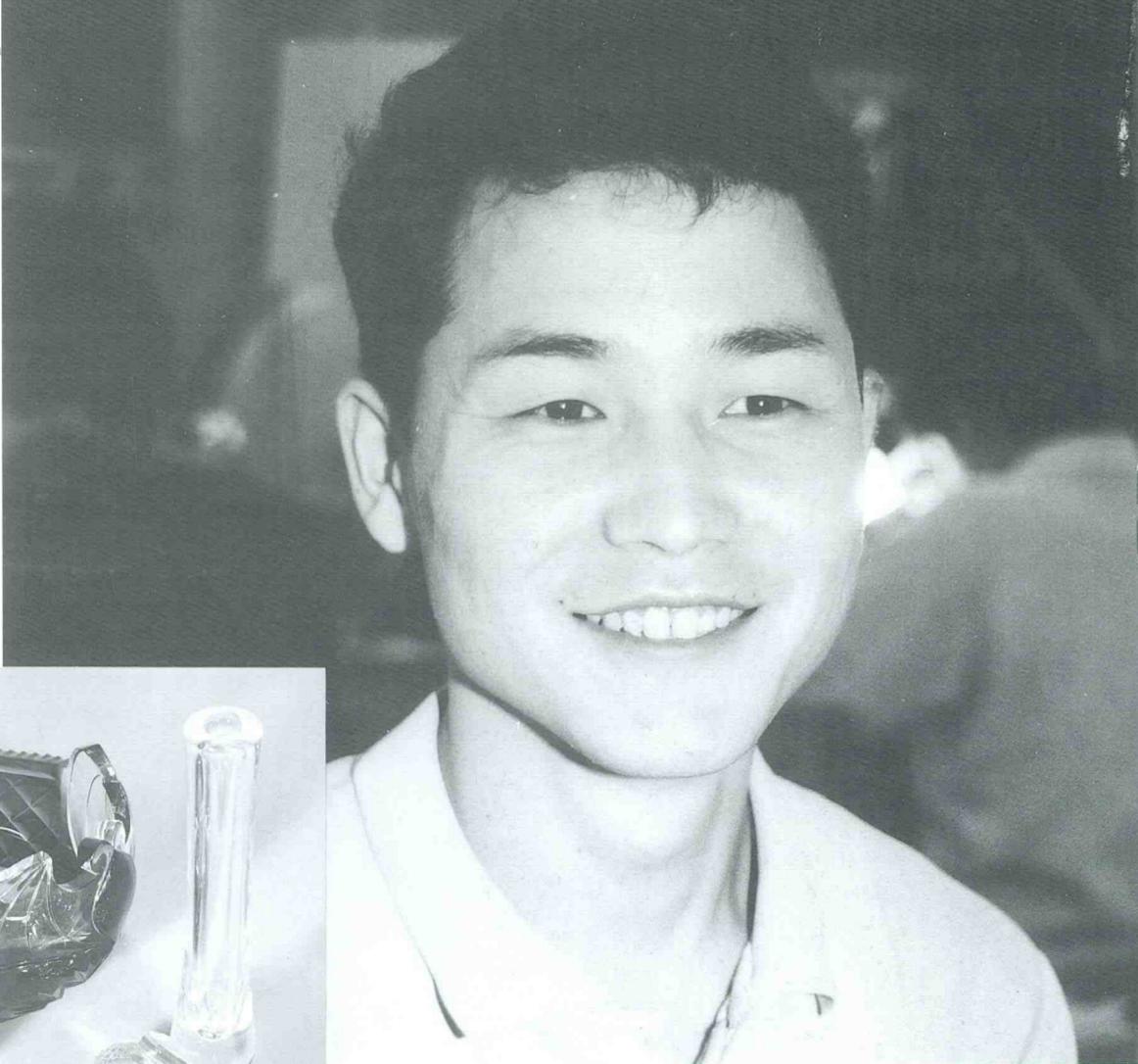
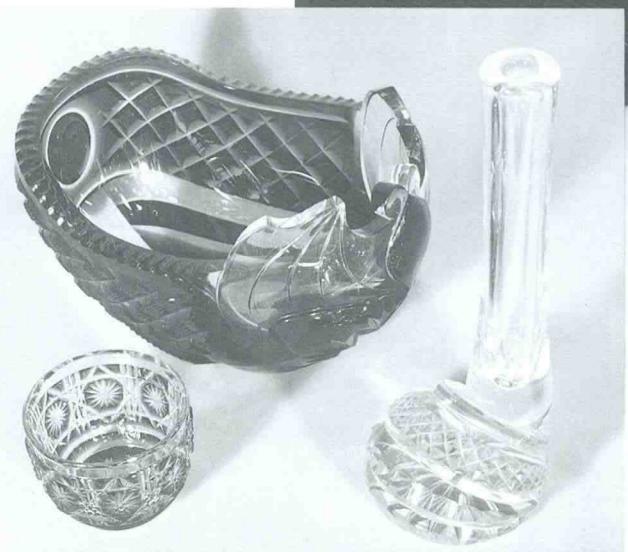
そこで、自らの手による「も
のづくり」の原点にこだわり続
ける職人がいる。



技の世界

薩摩切子

長谷川 久志さん



「十年間やつてきて仕事が嫌
だと思ったことはありません。」

と言い切る。

「日々、新しいデザインとの
格闘。山は高いが征服した時の
爽快感はたまらない。」

そんな長谷川さんが「つくづ
く不思議に思うこと」がある。

それは、百何十年も前に、薩

摩切子が作られていたこと。

「近代設備のそろった現代で

さえ、切子の成形、カットなど

難しいし、時間もかかる。電気

もガスもなかつた時代、想像を

超える時間をかけて丹念に切子

が作られていった。職人の切子

への想いが、ひしひしと胸に

迫ってきます。」

「切子が陽を受けて光を発し、
生きものに変わる。この感動の

灯を残したい。」

長谷川さん達の熱い想いのか
いあって、切子は文化的な価値
のみならず、商品としても広く
評価されている。

「初めての方もよく切子を
知っている方も、立ち止まって
目を凝らして見入る。そんな新

しい切子をこれからうんと作つ
ていきたい。」

長谷川さんに「鹿児島の工芸」

について聞いてみた。

「最近は、工芸に対する市民
の関心が高まっていますね。焼
き物教室など、市民の方がろく
ろに向かっている姿をテレビで

見かけます。その度に、薩摩切

子もこのように市民が参加しよ
うという雰囲気が出でてくれれば…

と思います。」

長谷川さんの趣味はギター、
魚つりと多彩。時には仲間が集
まってバンドを組むことも。

「バンドも魚つりも要是は集中
力。工芸と通じるものがあります。」

やはり、話はここに落ちつく。
最後に一言。

「ガラス工芸は一生やめられ
ません。ものづくりの楽しさ。
みなさんも一度経験してみて下
さい。やみつきになること間違
いなし。」

長谷川久志さん（二十八歳）。

復元された薩摩切子の美を追
い求めるガラス工芸の名人であ
る。

神秘的な光のプリズムを結ぶ
薩摩切子。幕末、薩摩の島津家
津斉彬が興した、世界に誇るガ
ラス工芸。その後、絶えていた
が、百数十年の歳月を経てよみ
がえった。

切子は透明なガラスに、色ガ
ラスを被せ、これにカットを加
え、その境をあいまいにしてば
かしを演出したクリスタルガラ
ス。紅、藍、紫、緑、黄などの
7色が魅惑的に光りを放ち、
カットの輝きを美しいものにす
る。

長谷川さんが、ガラス工芸の
世界に入ったのは十年前。
職人としての道のりは、同時
に、薩摩切子復元の歩みでも
あつた。

「これが見た目以上に難しい。
最初のころは、砥石に製品を
ひつかけて、飛ばして割つたり
しました。しかも、運悪く隣の
先輩の前にころころと…（苦笑）
「しばらくしたら飛ばさなく
なりましたが（笑）、均一にカッ
トすることは、本当に難しい。
縦、横、斜め、色々なパターン
のカット。少しでも厚さ、深さ
が違うと線と線が合わなくなる
んです。」

均一にカットする方法は、
「ただ、経験のみ。」
来る日も、来る日も、ひたす
らカットに集中する長谷川さ
ん。時には仕事が嫌になるので
は……

HELLO KAGOSHIMA



ALT(外国語指導助手)の皆さん

昨年の7月から、市の外国語指導助手として市内の公立中学や市立高校に赴任した皆さん。陽気で明るいキャラクターは生徒たちの人気の的。

10人の国籍はアメリカ、イギリス、オーストラリア、ニュージーランドとさまざまだが、日本に関心があり、お互いの交流を深めたいという気持ちは皆同じ。

生徒たちに英語を教えるだけでなく、生徒から日本語を習ったり、日常生活や習慣を教えあったりと積極的だ。

任期は今年の7月まで。街で見かけたら、みなさんも気軽に声をかけてください。

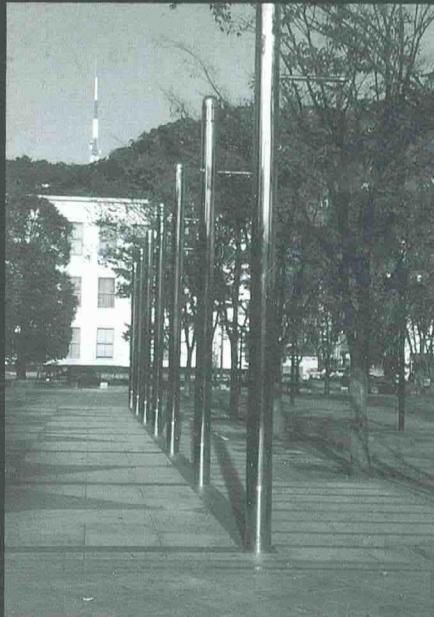
もちろん、日本語でOKです！



CITY ANGLE シティーアングル

並び

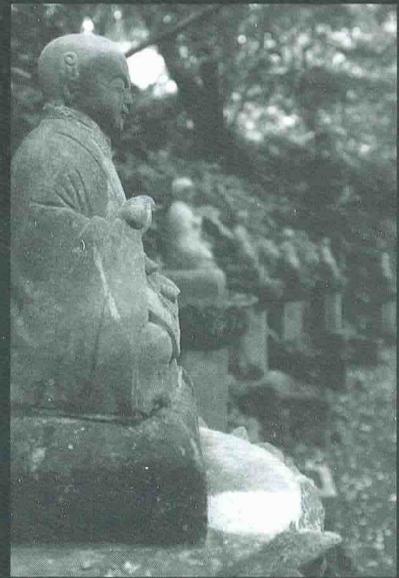
ふと気がつくと、並んでいるものがいっぱいあります。
直線的に、有機的に・・・。あなたの周りにもいっぱいあるはずですよ。



ポール =中央公園=



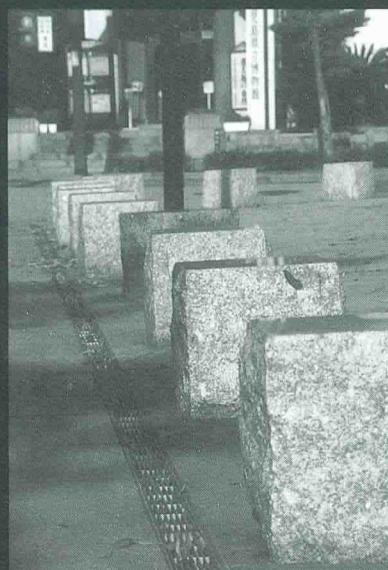
テトラポット =産業道路沿い=



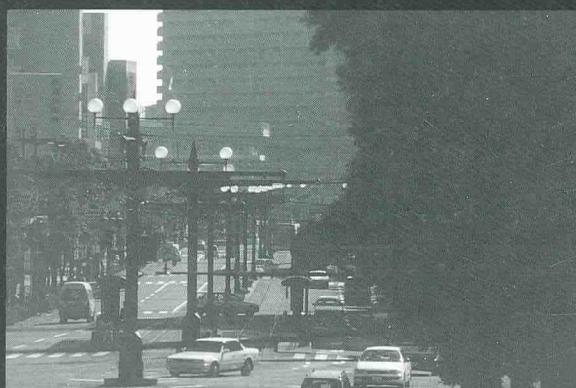
石仏十三体 =城山=



街路樹 =パース通り=



中央公園にて



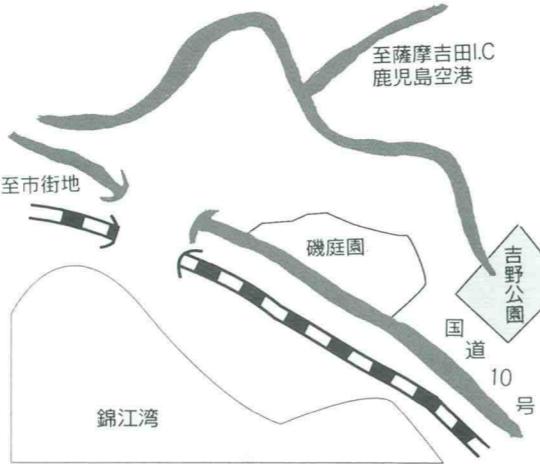
センターポール =高見馬場=



小型浮桟橋 =一号用地水路=



■まっ青な錦江湾に浮かぶ桜島。しばし大自然のパノラマを満喫する～吉野公園



■甲突川沿いを歩く。川面に吹く風が心地よい
至小山田町



■原良団地

札幌に住んでいたころは、近所をゆったりと散歩したいという欲求はわからなかったですね。冬の寒さが厳しい北海道。当時の私には、そういった心のゆとりもなかつたのでしょう。

その点、気候も温暖な鹿児島だと仕事が終わってちょっとと歩いてみようかという気分になります。

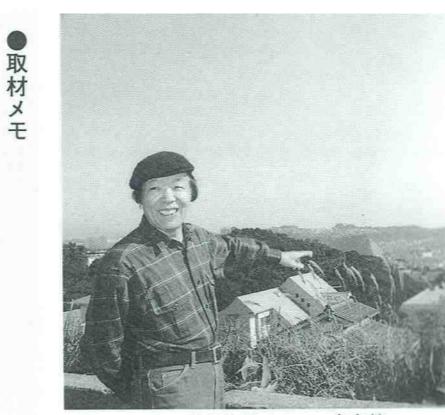
県文化センターで音楽会がはねた後、自宅の原良団地まで、甲突川沿いを歩きながら帰つたりもします。声楽家は体力が勝負ですから。

以前は、毎朝、近所を散歩していましたが、医者のアドバイスもあり、今はもうばら夜の就寝前にウォーキングで軽く汗を流しています。

ここ自宅の高台から見る景色もまた絶景。

元旦の朝など前の道路に初日の出を拝む人たちの車がずらりと並んだりもします。また、夏は、夕涼みがてら夜景を眺めたりと飽きることはありませんね。

「桜島・錦江湾・甲突川」が織りなす旋律の美しさ。この調和のとれた素晴らしい自然のハーモニーは、これからも私を魅了し続けることでしょう。



■「わが家は眺望抜群です」～自宅前

●取材メモ

鹿児島オペラ協会の新しい会長として昨年の八月に就任。

「鹿児島のオペラは全国でも非常に高く評価されているんですよ。声のいい人も多いし、皆、勉強熱心ですね。」

今でも、札幌で中学校の教員をしていたときの合唱部の教え子たちの招きで、毎年、現地で一緒にコンサートを開いている。

「四十年間この生徒たちとやつてこられた。そう思うとタクトを振りながら胸がじーんと熱くなりました。」

オペラ協会、リートオラトリオ協会での活動のほか、鹿児島ズイング・アカデミー主幹、短大での授業、「ママさんコートラス」の指導と幅広いコンダクターブリを遺憾なく発揮している。

昨年の秋には、全国三カ所を巡るバ

リトリリサイタルを開催。シユーベルトの三大歌曲集を連続して歌い終え、音楽通をうならせた。

昭和四十七年、札幌市から鹿児島短期大学に赴任。現在、鹿児島短期大学音楽科教授。

人暮らし。六十一歳。

魅せられて24年

♪美しい自然の旋律

鹿児島オペラ協会会長 小笠原 克美さん



わたしの

好きな場所

■吉野公園

鹿児島市に住み着いて二十四年がたちましたが、本当に住みやすいところですね。

ウイーンに二年ほど住んでいたんですが、向こうは街の真ん中に自然をそのまま生かした大きな公園があつて人々が日向ぼっこをしたり、本を読んだり、お喋りをしたりとその景色が日常の生活のなかに自然と溶け込んでいるんですね。池の白鳥やリスの親子をぼーっと眺めているだけで、おおらかな気持ちになります。

吉野公園をはじめて見たとき、「ああ、ここはいい！」といっぺん好きになりました。

ヨーロッパの公園をほうふつさせるスケールの大きさ。そして展望台から眺める雄大な景色――。眼前に桜島と錦江湾がドーンと迫つてくるでしょう。これはもう宝ですね。

音楽をやっていると「無」の状態に憧れるときがあるんです。音の洪水から逃れてリフレッシュしたい――。そんなとき、ふらりとやつて来るのにぴつたりの公園ですね。

魅せられて24年

♪美しい自然の旋律

鹿児島オペラ協会会長 小笠原 克美さん



■芝生の広場は解放感いっぱい～吉野公園

昭和四十七年春、札幌発鹿児島行き――。

飛行機が鴨池空港へ向け高度を下げはじめたとき窓から見た錦江湾と桜島の美しさ。

驚きましたね。生まれ育った北海道の自然とはまた違う素晴らしい風景に感動すら覚えました。

すでに空港は移転してしまいましたが、一枚の印象画のように今でも心にしつかり焼きついています。

歴史探訪

ふるさとの

辺田郷の今昔

鹿児島市中山町辺田

「辺田文書」によれば、中山町辺田は、元城下士の二・三男が慶長の役で島津義弘に従軍して以来、藩の与力、または足軽として御兵・具方に属していた。その後、谷山急事方に属し、明治二年に廢止されるまで、約三百五十年郷士の集団が住んでいた。

慶長の役から帰鹿した時は、ちょうど大晦日で正月の供物をする暇もなく、門松の代わりに椎の木を立て、また松の小枝を立てて済ませたと伝えられ、今でも辺田では門松、しめ縄を立てない家がある。

また「北斗北辰」と書いた長さ四十センチ、幅十五センチの巻物を所有している家があるが、これは慶長の役に従軍し、航海安全を祈念した「お守り」だと言われている。

辺田学館の一角に、「文化十四年（一八一七年）十月、講中」と刻した稲荷大明神祠がある。この石祠は朝鮮泗川の戦で島津軍が大勝できたのは、白狐、赤狐が戦場に現れ、軍の士気を鼓舞したからであり、義弘が留守居役に稲荷を奉祠するよう命じたからだと言われている。

稲荷大明神をまつる稲荷講は、辺田郷中の講で、今でも年一回十

月の吉日に、辺田郷中の人があつて祭典を行い、そのあと学館で直会がある。料理は鶏のさしみ、産（山林）から出費している。この稲荷講の資金は、辺田郷中の青少年教育にも出費されている。

辺田郷は、早くから武芸や学問の盛んな所で、天保五年（一八三

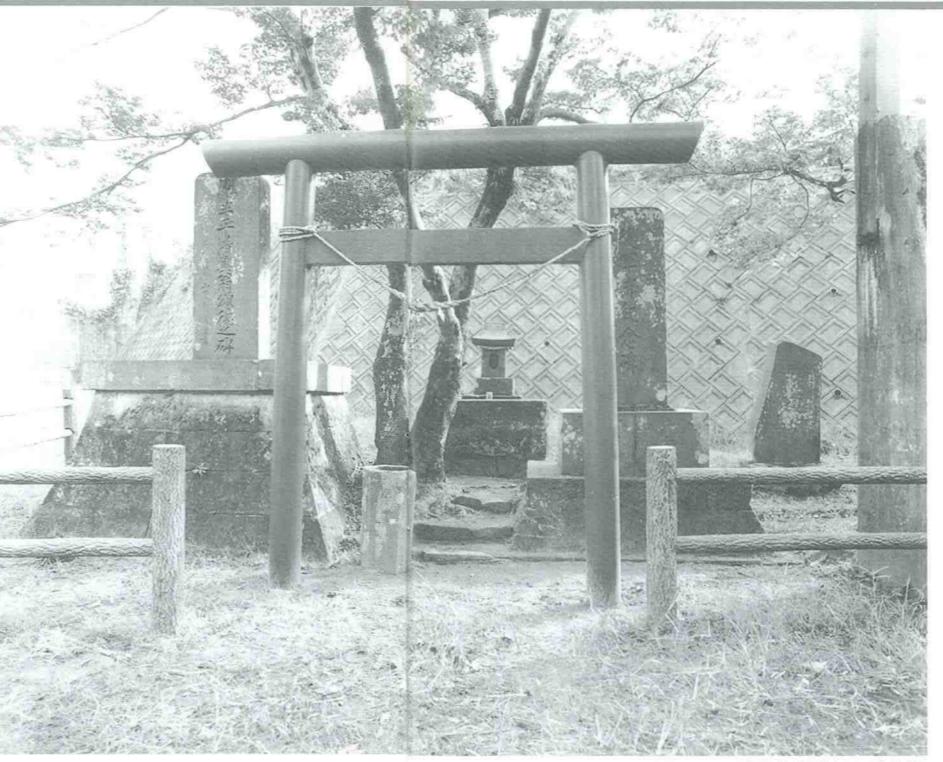
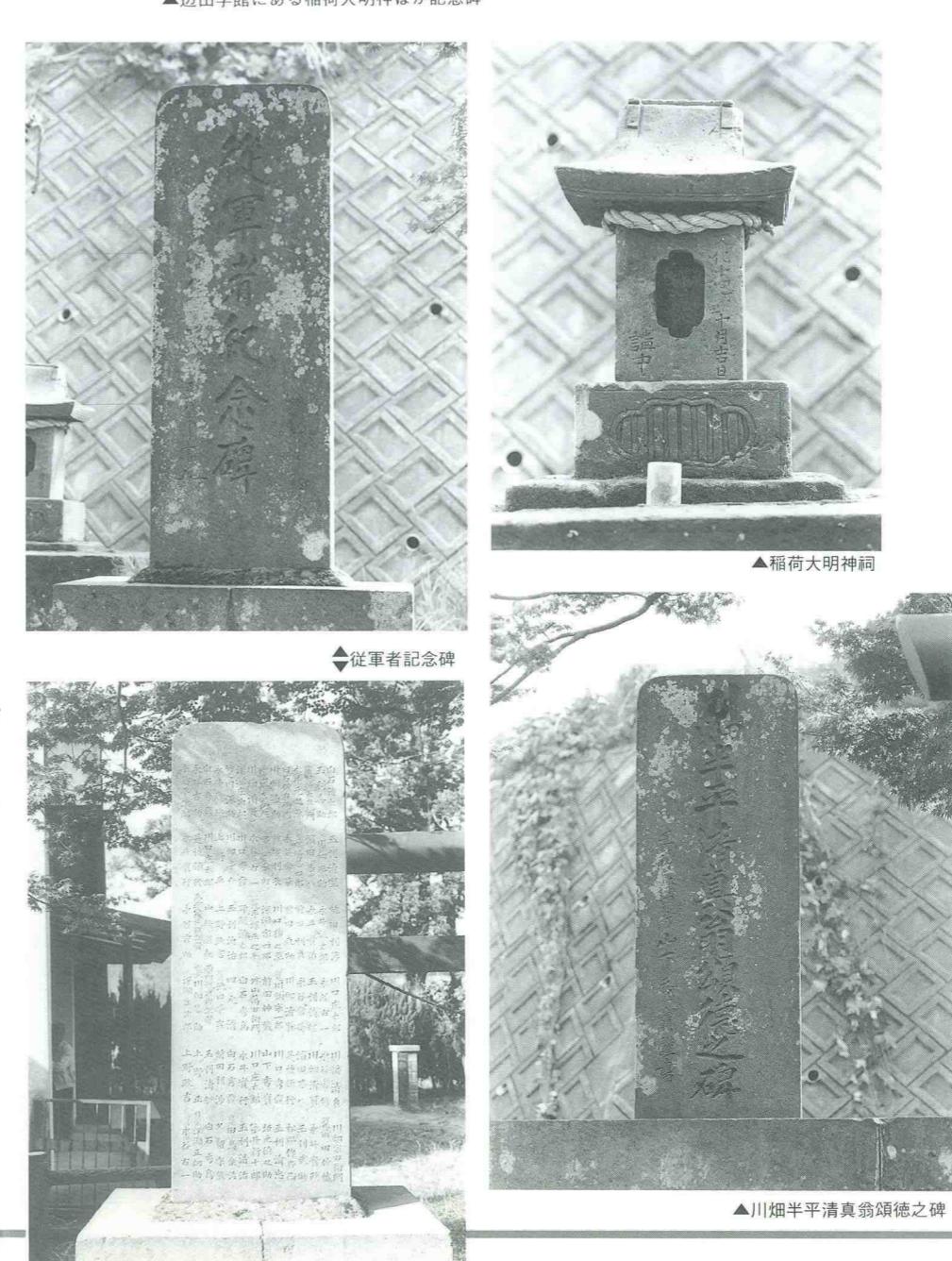
四年）の「万覚留帳」によ

れば、文政三年（一八二〇年）に武芸の稽古所が造られた。幕末、ペ

リーカー航行により世が騒然となると、武芸のほかに精神修養、德育の場として、稽古所を辺田学館と改め、武芸だけでなく学問にも励み、辺田の土風、学風が大いにあがつた。

ここで学んだ多くの人は、薩英戦争、戊辰の役、西南の役に従軍され、六角形の手洗鉢が稲荷大明神の祠に奉納されている。

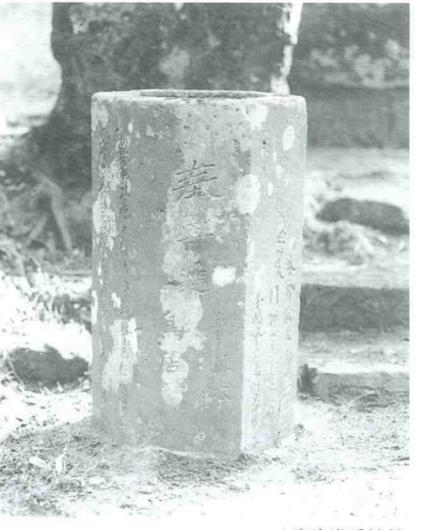
川畠半平清眞翁頌徳之碑



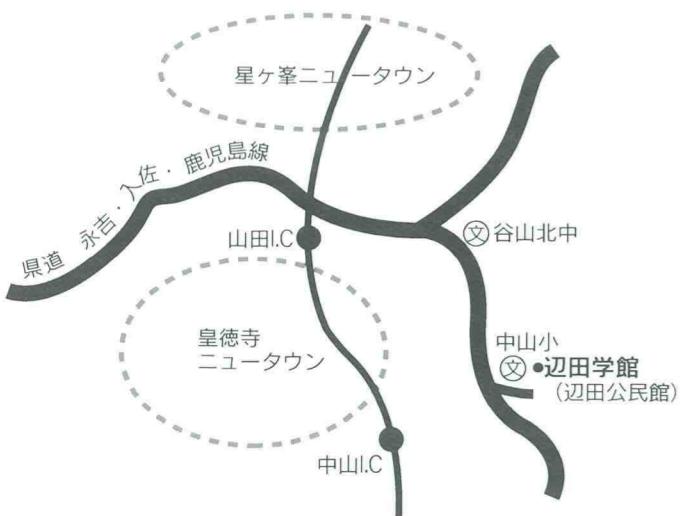
▲辺田学館にある稻荷大明神ほか記念碑



▲民家に残る石敢當



▲奉寄進手洗鉢



辺田村落俗風清夙設学堂既有名
未聽少年流惡弊 唯聞比屋讀書声
當時の辺田の美風良俗をうかがうことができる。



▲辺田郷に残る石門



▲辺田郷の古墓（江戸中期）



木原三郎

辺田学館跡には、各戦役従軍記念碑、川畠半平清眞翁頌徳之碑が建っているが、戊辰役寄進碑には、奥羽北越之國々江賊徒征伐出兵被仰付今日出陣為武運長久寄付之、慶応四年戊辰八月六日と銘があり、川畠九之助ほか十一人の氏名が刻まれ、六角形の手洗鉢が稲荷大明神の祠に奉納されている。

し、辺田郷の名を高めた。辺田郷教化指導の先覚者は川畠半平清眞で、谷山聖人と言われ、その教化は四隣に及んだ。清真は郷士のみの教育に止めず、庶民にも学問の必要を説き、明治五年白山小学を設立した。これが中山小学校の前身である。辺田学館が辺田学校と称していた時、群馬県の人、長坂吉太郎が教師となり、辺田村落の美風を讃えて、七言絶句を賦している。

辺田村落俗風清夙設学堂既有名
未聽少年流惡弊 唯聞比屋讀書声
當時の辺田の美風良俗をうかがうことができる。

辺田村落俗風清夙設学堂既有名
未聽少年流惡弊 唯聞比屋讀書声
當時の辺田の美風良俗をうかがうことができる。

チラシクラフト

百枝 盛男さん（小原町）



よ
か
夕
イ
ム

よかタイム7つの質問



Q1

チラシクラフトって何ですか？

新聞に入っているチラシを棒状にくるくる巻いてできほとんどの物いらずです。毎日、チラシが入るので、入った分だけ材料を作っています。

Q2
主な材料は？

チラシとボンドと塗料、そして、自分のアイデアです。

ほとんどの物いらずです。毎日、チラシが入るので、入った分だけ材料を作っています。

Q3
始めてどのくらいになりますか？

およそ、十年です。

Q4
A

きつかけは？

子どものころから竹ひごで模型飛行機を作つたりするのが好きでしたが、チラシクラフトを知って、おもしろそうだと思つて始めました。

Q5
A

子どものころから竹ひごで模型飛行機を作つたりするのが好きでしたが、チラシクラフトを知って、おもしろそうだと思つて始めました。

Q6
A

いつ作るんですか？

毎日二～三時間はテレビドラマを見ながらくるくる棒を作つたり、作品を作つたりしています。

Q7
A

これから始める人へ一言

毎日二～三時間はテレビドラマを見ながらくるくる棒を作つたり、作品を作つたりしています。

Q8
A

チラシクラフトの魅力は？

「よく陶芸展や美術展へ足を運び、アイデアを練っています。毎日が勉強ですよ」と話す百枝さん。今後は桜島の絵を作つたり、金閣寺や五重の塔に挑戦したいとのこと。一枚、一枚のチラシから素敵な金閣寺を生み出してくださいね。

かごしまの自然

城山にて



心地よい風に吹かれながら、歩みを進める。

巨大なクスの根…

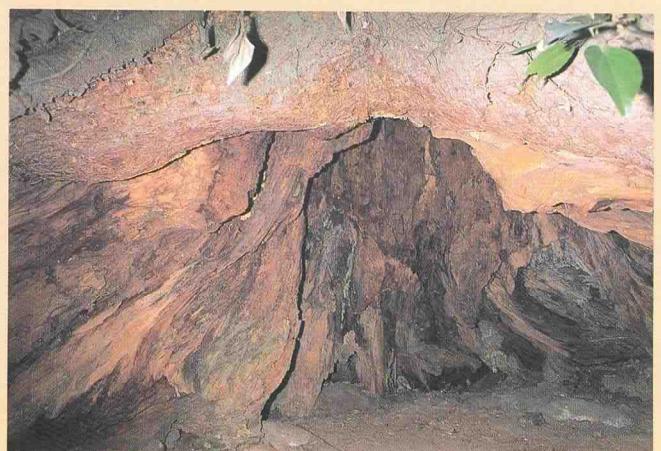
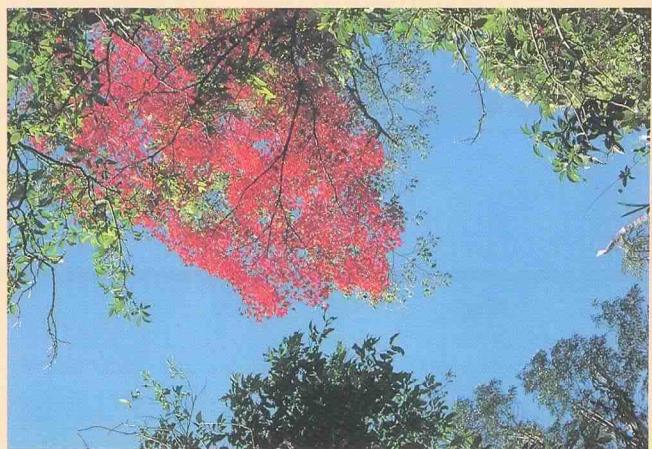
今も生命のすばらしさを謳歌しているかのように、どっしりと大地に根づいている。

子どものころ、来たことあったっけ。記憶をたどってみる…。

どれくらいの時間がたったのだろう。

木漏れ日を受けながら、空を見上げた。

透き通るような青空が山を包み込んでいた。



市民ギャラリー

● 東桜島公民館・自主学習グループ ●

心通じあう仲間が集つて
学ぶ。本当に楽しいですよ
ね。
今回は、東桜島公民館の
自主学習グループで、「書
道同好会」と、「ちぎり絵
同好会」の皆さんの作品を
紹介します。

「書道同好会」は、竹下
昭子さんを中心に、毎月第

二水曜日に活動しています。
平成元年から活動を始め、
現在のメンバーは二十三人。
小学校二年生から九十五
歳のお年寄りまで、幅広い
世代が集つて、和気あいあ
いと筆を走らせています。
中には、同好会に入った
子どもの送り迎えをしてい
るうちに、明るい雰囲気に
魅せられて入った人も。
一方、「ちぎり絵同好会」
は、有川優子先生を中心には、
毎月第一・三水曜日に活動
を行っています。昨年九月
からの活動で、現在のメン
バーは六人。
ちぎり絵は下書きなどせ
ず、手で和紙をちぎつて
はりつけていくため、「ど
ういう作品ができるのか自
分でも判らない」「ワクワ
クしながら作る」楽しみが
あります。」とのこと。
皆さんのがグループとも、地域文
化祭などへの出展を目指し
て頑張っています。

両グループの活動や作品について語るときの
目は、いきいきと輝いて見
えました。
両グループの皆さん的作品
をゆっくりとご鑑賞くだ
さい。

GALLERY ちぎり絵同好会



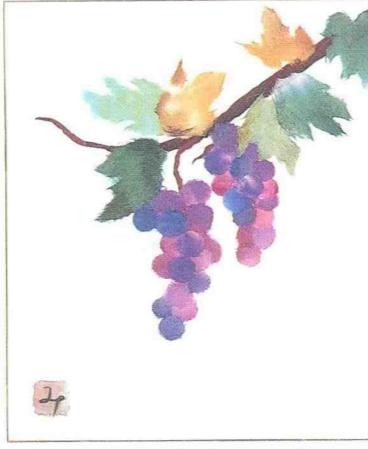
「さざなみ」竹下オシナさん



「バラ」吉沢米子さん



「すいせん」上村輝代さん



「ぶどう」三原瑠美子さん



「なす」荒田富子さん



「さざなみ」浜村富さん

GALLERY 書道同好会



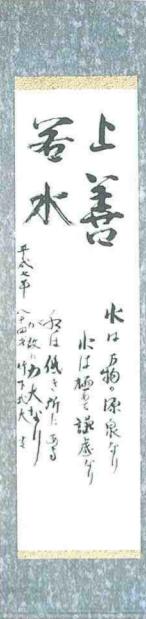
「好きな言葉」若松満雄さん



「好きな言葉」坂之上家原さん



「好きな言葉」若松満雄さん



「善水」竹下武夫さん



「好きな言葉」山口政雄さん

市政この一年

「猪突猛進」と意気込んで始まった亥年の昨年、あなたにとって、どんな一年でしたか？鹿児島市政でも、いろいろなことがありました。ここでちょっと、振り返ってみましょう・・・。



6月

平成7年国勢調査市実施本部設置



7月

第10回「海の祭典」



8月

平和を願う市民のつどい



9月

第9回長才まつり



10月

男女共生社会を考える市民のつどい～メインフォーラム



11月

第10回市民生き生き健康フェスティバル



12月

中核市指定について市長の記者会見



1月

阪神・淡路大震災被災地への職員派遣・救援物資などの支援



2月

平成7年度当初予算(案)市長記者発表



3月

'95かごしまカップボードセーリング大会



4月

畜産フェスタ



5月

錦江湾公園はなまつり



ママさんパワーでゴールを目指す！

「ピーッ」。試合終了のホイッスルが桜島の溶岩グラウンドに響く。

平成7年11月12日、第7回全国ママさんサッカー九州大会決勝戦で惜しくも敗れた「東谷山レディース」。しかし、初の全国大会出場の切符（上位2チーム）をすでに手中にしているプレイヤーの表情は、喜びでいっぱいだ。

県内で唯一のママさんサッカーチーム「東谷山レディース」が発足したのが12年前。そのルーツは、体育館など室内で行う5人制のサッカー「フットサル」である。

「グラウンドでサッカーを始めて7年です。現在の会員は27歳から50歳まで19人。今でこそ、サッカーブームのおかげで人数も何とか足りていますが、それまでは10人で九州大会に出場したことありました。

メンバーのほとんどが主婦なので、練習も月2回が精いっぱい。女子中・高校生を交えた10チームのリーグ戦で試合をするんですが、今の若い子どもたちには、まず運動量でかないませんね。簡単にゴールをわられます。だってうちのチームの平均年齢はもう少しで40歳に届きそうんですよ」と豪快に笑うのは、監督兼コーチ兼キャプテンの福間美恵子さん。（上の写真前列右から2番目）

クラブのモットーは、何よりもみんなでサッカーを楽しむことと言う。

全国大会は日本有数のサッカー王国、清水市で開催される。「観光がてら、交流を深めてきます！」元気な薩摩おごじょたちの活躍に期待したい。

集え
ば
楽
し

サークル紹介

東谷山レディース



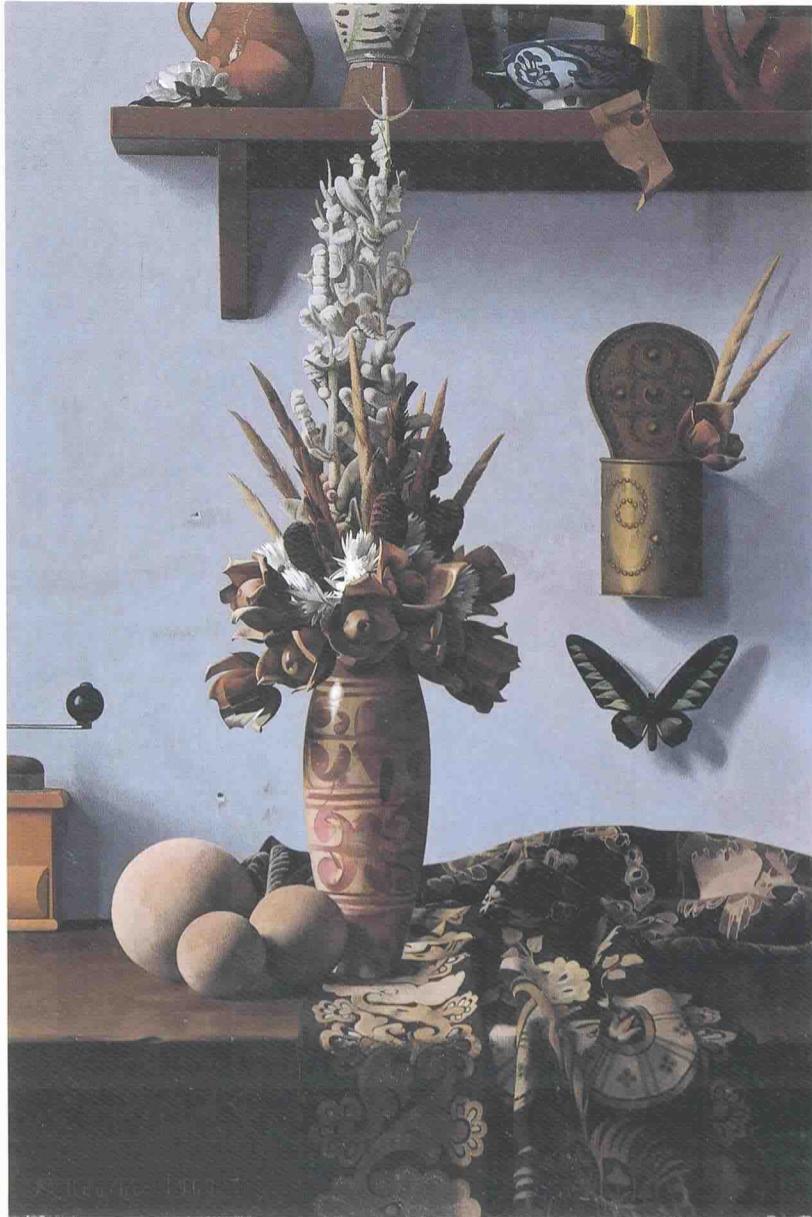
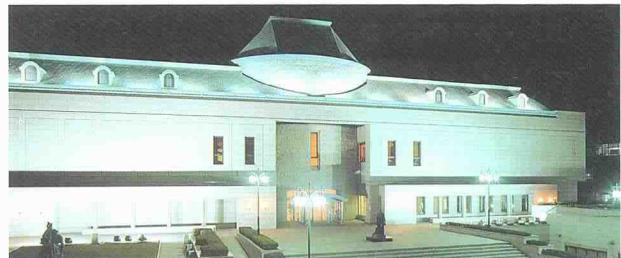
市立美術館

「ドライフラワー」

(1967年)

材質：油彩・キャンバス

サイズ：90.8×60.8cm (タテ×ヨコ)



安達真太郎
(1906~1988年)

〔作者〕

1906年姫路市に生まれるが、鹿児島市で幼年期を過ごす。松原小から県立鹿児島二中（現・甲南高校）へ進み、卒業後上京。川端画学校で清水良雄に師事し、光風会を中心に活躍。穏健な風景画や静物画を描く。また、東京大学理学部の植物学教室で標本図の作成を手伝う。

1927年、21歳の若さで帝展（現・日展）初入選。1940年、同展を無鑑査となつたため、念願の細密による静物画を制作、思い切って出品したという。この時、自作の前に黒山の人だかりができたことに、自分の主張の正当性とモダンアートに飽き足りない一般の美術ファンの姿を見たようである。

以後、細密静物画一筋に打ち込むが、国内に先人がいないことから、1964年渡欧し、パリやオランダなどで17、8世紀のフェルメール、シャルダンといった静物画家たちを研究する。その芸術はヨーロッパでも認められたため、1977年サロン・コンパレーヌに招待出品した。この直後、眼病を患い、作品を残していない。1988年、82歳で没した。

写真と見まちがうばかりの細密な描写。「こんなもの現代の芸術ではなく誰にだつてたんねんにかけば出来る云々」と当時の先輩画家たちに言われたと後年述懐している。しかし、西洋の巨匠たちの絵は今でも生き続けているはずだ、自分とこれら巨匠たちの違いはどこにあるのかといつた疑問が、彼をヨーロッパ留学へ向かわせた。

そこで作家が学んだものは、写実ということをぎりぎりまで追求した末に、ものが、おのずから表現はじめる象徴性であったと思われる。実際、渡欧前と後の作品は微妙だが大きな変化を見せ、効果を強めるための色数の限定、材質感表現の徹底といった、本場での研究の成果が察せられる。さらに、光の表現が変化しており、例えると、照らし出されたものを描くだけでなく、描くことによってものが内側から照り映えてくるようになつたとさえいえよう。

当館の常設展の中でも、特に注目を集める一点である。山口長男の抽象画などに開まれ、孤軍奮闘している。これはモダン・アートの時流にあらがい、古典的な理想美の世界を追求し続けた作家の態度をそのまま表している。

解説

'96 かごしまカップ ボーダセーリング大会

- とき／3月23日(土)・24日(日)
- ところ／磯海水浴場
- 参加資格／ボーダセーリングを帆走して、出発点まで帰着できる能力のある人
- 種目／①錦江湾トライアングルレース
②錦江湾横断レース
③リレー（1チーム5名）
- 参加料／4,000円(当日エントリー6,000円)
- 申し込み／所定の用紙で3月8日(金)までに実行委員会事務局へ(3月9日以降の申し込みは、当日エントリーとします)



【問い合わせ】かごしまカップボーダセーリング大会
実行委員会事務局(観光課内) ☎224-1111

第3回 ボランティア活動を学びあう 市民のつどい

- とき／3月24日(日)
13時～16時30分
- ところ／長田中学校
- 内容／
 - ・シンポジウム



- 「阪神・淡路大震災とボランティア活動」
コーディネーター 中嶋充洋氏(前鹿児島経済大学教授)
- シンポジスト 早瀬 昇氏(大阪ボランティア協会事務局長)ほか
- ・親子で学ぶボランティアスクール
一日手話講座、車椅子・アイマスク体験など
- ・ボランティア体験作文発表



【問い合わせ】社会福祉課 ☎224-1111